

複合サービス展開 利用者の選択拡大

2005年に創業した楽喜(岡山市)は、民家改修による定員10名のデイサービスから事業を開始。当時は3人の職員でスタートしたが、今では120名近い職員がいる。



楽喜 下川和歩社長

同社の下川和歩社長は「断らない、あきらめない」をモットーに困難事例にも対応してきました。その人らしく過ごせるケアを多機能型居宅介護、デ

「理念をもって運営しています」と説明、現在は「ここなら落ち着く」安心して任せられる」と多くのケアマネから信頼されている。

運営する「福祉の杜あゆむ」(同)は、KES構法の木造住宅。20室のサ高住、小規模



「あゆむ」外観

小多機2、デイ、介護相談事業所を運営、小多機の利用者には手作り弁当の配達も有料で行っている。

また、B型就労支援では、ビザの移動販売を行う。福祉施設での祭りや一般企業のイベントにも出向き、好評だという。

職員も「やりたい」気持ちも尊重。イベント開催等のアイデアは一緒に考える。下川社長は、「職員にも様々な

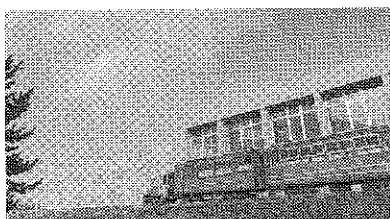
一日現場に入ってもらい現場管理者とも面接、入社後の双方の認識のズレをなくし、定着率を高めている。20代の職員は「職員間の関係が良いからか、情報共有もスムーズ。やりたい介護ができて楽しい」と話す。

福島に大型複合施設

温知会 医・介・地域と連携

一般財団法人温知会(福島県会津若松市)「ヒルズ天生」を竣工した。敷地面積6万平方メートル、医療介護施設としては全国的にも大規模なものとなる。

施設内には介護療養型老人保健施設「天生」174床、特別養護老人ホーム「天生」150床を設置、それぞれを温知会と温知福祉会が運営する。そのほか、関連企業が開発する医療・介護用ロボットなどを導入、各種センサーからなる緊急システムや移乗ロボットも装備する予定。医療面では



▲ヒルズ天生内を走る汽車

温知会の運営する会津中央病院が連携し、対応する。地域住民からの要望があったスローパーマーケットやカフェのほか、イベント広場なども設置され、広い敷地内を2面編成の汽車が走る。地域起

こしの起点として位置付けたい考え。

内定辞退が半減

ある顧問先では、法人が求職者にしっかりと伝え、経営陣、人事担当者

これを採用面接の段階で、経営陣、人事担当者

安心を生む契機に

企業が、「どの方向に向かっているのか」という方向性を示すことは、その組織で働く職員や

「目指すべき人材像」の具体例が記載されていた。その記載例を一部紹介します。

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組みます」

介護技能実習、詳説

11月30日にセミナー

講師は、厚生労働省

理念教育とは

先月の第1回でも「企業理念」や「法人理念」に込められた人材への想

「理念教育」という言葉

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む

第2回 面接時に理念をしっかりと説明しよう

付けるのかの準備と面接時にその理念を伝えること

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む

率を高める 財育成

の高い施設が前にしていること

ンクアクト代表取締役
験労務士事務所代表
人
合研究所理事

幸

ン、コンサルティング会社
設立。社会保険労務士、
介護業界に特化した人材
アドバイザーなどを全国の
しての介護施設(こう
社)。

の共有が定着につながる

に感じるでしょう。目的

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む

「〇〇の社員は「プロ意識」を持って仕事に取り組む